

令和4年度花巻市在宅医療・介護連携推進協議会会議録

1 開催日時

令和5年2月28日（火）午後6時30分～午後7時

2 開催場所

花巻市役所本庁舎新館1階、2階会議室

3 出席者

花巻市在宅医療・介護連携推進協議会委員 9名

一般社団法人花巻市医師会 中館一郎、花巻市歯科医師会 狩野敦史、花巻市薬剤師会
坂本秀樹、岩手県訪問看護ステーション協議会 平澤利恵子、花巻地区看護管理者会
佐藤久美子、花巻市介護支援専門員連絡協議会 峯村諭、社会福祉法人花巻市社会福祉
協議会 菊池伸太郎、岩手県南広域振興局保健福祉環境部 佐々木千恵美、花巻市地
域包括支援センター 根子 裕司

市 7名

健康福祉部長 今井岳彦

健康づくり課 蟹澤容子

長寿福祉課 佐藤ひとみ、小綿みはる、伊藤幸恵、晴山弥子、山口裕樹

4 議事録

（小綿課長補佐）

それでは、ご案内の時間となりましたので始めさせていただきます。

ただいまより、令和4年度花巻市在宅医療・介護連携推進協議会を開会いたします。本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。

花巻市長寿福祉課の小綿と申します。どうぞよろしく願いたします。

開会にあたりまして、健康福祉部長の今井よりご挨拶を申し上げます。

（今井部長）

仕事が終わってお疲れのところ、令和4年度花巻在宅医療・介護連携推進協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また日頃から本市の高齢福祉、介護保険、健康推進に加え、新型コロナウイルス感染症対応等について、多大なるご支援、ご協力をいただいていることにつきまして、改めて御礼を申し上げます。

在宅医療・介護連携推進は、医療と介護の両方が必要な状態になっても、自宅など、高齢

者と家族が望む場所で人生の最期まで過ごせるよう、切れ目なく支援しつつ、支援し続ける体制の整備を目的とするものであり、当市におきましては、連携推進の取り組みを進めるにあたり、その中核となる在宅医療・介護連携拠点を市が担う形で、平成 29 年度に設置し、関係機関から選出された在宅医療・介護連携推進員とともに連携推進に係る様々な課題を解決に向けた検討と試行を重ねる中で、連携の仕組みづくりを構築して参りました。

本日のこの花巻市在宅医療・介護連携推進協議会は、医療及び介護の関係機関の代表者で構成される組織であり、在宅医療・介護連携推進事業の検討内容や、取り組み等の共有、今後の在宅医療・介護連携推進の方向性の協議を目的に、平成 29 年に設置したものでございます。

本日の協議会では、今年度を実施した在宅医療・介護連携推進の進捗状況の確認等の取組実績及び令和 5 年度の事業計画について、説明をさせていただきます。

委員の皆様のご意見の忌憚のないご意見をいただきたいと思います。それでは本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(小綿課長補佐)

本日の会議につきましては、委員 14 名中過半数の出席をいただいております。花巻市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により、会議が成立することをご報告させていただきます。

あわせて本会議は、花巻市審議会の会議の公開に関する指針により、公開する会議となります。会議の傍聴を希望する方がある場合はこれを認めること。また、会議資料及び会議録を市のホームページで公開いたしますことを申し添えます。

委員の皆様のご紹介につきましては、お手元の花巻市在宅医療・介護連携推進協議会名簿により、ご紹介に代えさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、次に次第の 3 番、会長の選出に移らせていただきます。

会長の選出につきましては、要綱第 5 条第 1 項の規定により、委員の互選となっておりますが、どのような選出方法がよろしいでしょうか。

(根子委員)

それではよろしいでしょうか。

(小綿課長補佐)

よろしくお願ひいたします。

(根子委員)

包括支援センターの根子と申します。もし事務局案がございましたら、事務局一任でお願いしたいと思います。

(小綿課長補佐)

ありがとうございます。

ただいま、事務局一任の声がございましたが、事務局からご提案させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは異議なしということで、事務局の方より提案をさせていただきます。

(佐藤課長)

長寿福祉課の佐藤と申します。

それでは事務局案を提案させていただきます。会長は一般社団法人花巻市医師会会長中館一郎様にお願いしたいと思います。

(小綿課長補佐)

ただいま事務局から、会長に花巻市医師会会長中館一郎様の推薦がございました。

皆様にお諮りいたします。これにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

異議がないということで、中館先生によりしくお願いしたいと思います。

それではここで会長に就任されました中館先生よりご挨拶を頂戴したいと思います。

中館先生、よろしくお願いいいたします。

(中館会長)

花巻市医師会の中館でございます。皆さんよろしくお願いいいたします。お疲れのところご苦労さまでございます。

在宅をスムーズに進めるための連携ということですので皆さんの活発なご意見を期待しております。よろしくお願いいいたします。

それでは早速協議に入っていきたいと思います。

協議1番から参ります。令和4年度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の取組についての議題について、事務局からご説明お願いいいたします。

(佐藤課長)

令和4年度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の取組についてご説明いたします。

(以下、資料1に沿って説明)

(中館会長)

どなたかご意見とかご質問とかございましたら、挙手なり、手挙げのボタンを押していた

だけるとよろしいかと思えます。何かご意見とかご質問とかありませんでしょうか。

なければ後でまたということもありますので、協議事項の 2 番に進みたいと思えます。よろしいでしょうか。では協議の 2 番、令和 5 年度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の計画について、事務局より説明をお願いいたします。

(佐藤課長)

それでは、令和 5 年度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の計画についてご説明させていただきます。

(以下、資料 2 に沿って説明)

(中館会長)

この計画について皆さんから何かご質問とかご意見とかございますか。

各団体が積極的に事業計画を立ててその連携を取れるように事務局も頑張るというよう
なご意見だと思いますが、皆さん何か意見ございますか。ご質問でも結構です。

1 番 2 番としての質問でも結構ですが。

(平澤委員)

岩手県訪問看護ステーション協議会の平澤です。いつもありがとうございます。

私も子会に随分長いこといて親会は今回は初めてなんですけれども、ずっと取組が課題
の分析になっていて、もうこれが始まってかなり何年も経っているんですが、ずっと分析を
して課題探しをしていなきゃないのかなというところが正直なところでは。

結構花巻市は在宅の訪問看護ステーション数こそ少ないんですけど、規模の大きいところ
がうちも含めて 2 か所あって、連携もとれていて、ケアマネージャーさんの質が質がと
言うんですけど、うちの地域のケアマネージャーさんは結構きちんとしてくれるし、いろん
な繋がりはもうできている地域だと私は思っているんです。

この参考資料 2 のところを見させてもらうと、市民（本人・家族）から聴取した困りごと
や意見というところは、困ってるのは介護職の横の連携のところではなくって、市民の相談
窓口がわからないことが、一番の問題じゃないかなと思ってるんですがいかがでしょうか。

(中館会長)

平澤さんの言うのは、相談窓口をもう少し周知を徹底するということですか。

(平澤委員)

そうですねというよりも、この「医療・介護に関わる専門職の皆様へ」となっているん
ですが、専門職から見ると多分みんな知っている人たちなんです。

医療・介護に関わる専門職の皆さんは、例えば在宅の困りごと、近くに高田先生のところ

があったならば高田先生にこういう人がいるんだけど、訪問診療してもらえないかなとか。褥瘡ができて困っているヘルパーさんやケアマネージャーさんがいたならば、かかりつけこの先生なんだけど訪問看護入ってくれないかなとかということは、もう周知されてるので相談件数はゼロなんだと思うんです。

また、困りごとが出てきているのがやっぱり市民から、医師会さんにもケアマネ主体でやっているよとか、あとは口腔内の相談をどうしたらいいかわかんなかったと花巻歯科医師会さんこれヘルパーさんですよ。あとはステーション協議会が拾ってきたことは、多分これはもうアドバイスしていると思うんですけど。こういうことをいえる環境の人。医師会さんに関わる、先生に関わっているとか、近いお医者さん歯医者さんに関わっているとか、訪問看護ステーション使っているとか、病院の看護師さんに相談しやすい環境がある人はいいんですけど、そうじゃない、どこにも繋がっていない人たちが多分一番困っているんじゃないかと思うんです。

例えばこれを一般市民向けに、相談について協議会の相談や委員さんはここですと市民に発表してしまうとここに集中するので、医療・介護に関わる専門職の皆様へとやったと思うんですけど、花巻市はここは私はちゃんとできている地域だと思うので、困った市民がどこに相談すればいいかがわかったほうがいいのではないかと思うんですがどうでしょうか。

(中館会長)

先ほどの相談窓口は窓口になってないということですか。

(平澤委員)

市民の人は多分、包括支援センターに行けばいいとか、例えばですよ。今その役を包括とかがやってくれているんですけど。例えば包括にいったならば分析ができるからあちこちにやるというのが、そこを市民が知らないだけだと思うんですけど。

(中館会長)

そうするとやっぱり市民への周知の仕方、何をどうするかにかかってくるんじゃないかと思うんですけど。

(平澤委員)

そう思います。というかそういうふうに思っているのが、私だけなのかということも。

(佐藤課長)

参考資料1のチラシがあくまでも関係者の方向けのものでしたけれども、市民の方が相談する先は、包括支援センターということになりますので、そのことをさらに周知を図る必要があるということになってくると思います。

(平澤委員)

結構花巻はできていると思いますよ。他の地域と比べても在宅看取りの件数も多いし、横の繋がりはずごくよくできているんじゃないかなと思っているのは私だけでしょうかね。ケアマネさんもそう思いませんか。

(峯村委員)

私は地域的に大迫というところにいますけど、役員会で集まったような時に本当に横の繋がりってしっかりできているんだなというふうに、特に市内であったりとか、本当そうやってこっちが勉強させてもらうようなことがいっぱいあるので、そういうところをしっかりとやっているんだなと思います。

本当に私も今これ見たんですけど、専門職になんだなと思ってびっくりしました。これは市民じゃなかったんだなと思って、今まで市民の皆様なのかなと勘違いをしていたので。これで市民の皆さんに周知というところをやっていけばいいと思います。私たちがその間ということにもなるかもしれませんし、そこはお手伝いをしていけたらと思っております。

(中館会長)

ありがとうございます。平澤さんそういうことですか。

(平澤委員)

誰が困っているかと言ったら、いっぱい聞き取りをしてくれた市民さんたちが困っていてどこに相談していいかわかんないよという声をたくさん拾ってくれているのであれば、それぞれの団体がどこを強くすればいいかということ、その会議の中で話をしていくよりも、市民のために動いているので、その市民がどこに相談したらいいかというところをしっかりとわかってもらうことでいろんな問題が解決できるんじゃないかなと私は思ったんですけど、皆さんいかがですかね。

(中館会長)

それは地域包括に声をかけやすくしろということに集約されるんですか。

(平澤委員)

始まった当初は看護師を雇用して、そういうポストに置くという話があった時期もあったんです。市役所さんで看護師を採用してコーディネーターにしようかという話があったところで、その市の多岐にわたるところで、それだけのためのというのは、そういうコーディネーター的なところは花巻市は望まないということがあったので、やっぱり困ったらこ

こというところを示してあげて、周知した方が何かいいような気がするんですけど。

(中館会長)

ではそのことを事務局で検討していただいて、その方針をまとめていただこうかと思うんですが。

(佐藤課長)

では令和 5 年度の推進会議の中で、市民の方にどんなふうに周知をしたらいいか、効果があるかということを検討して参りたいと思います。

(中館会長)

平澤さん納得してないと思うんですけどよろしいですか。

花巻地区看護管理者会の方どうぞ。

(佐藤委員)

看護管理者会の佐藤です。

今のことにに関してなんですけど、来年度の事業計画の中に多職種が集う会議ですとか、あと講演会ですとかあるんですけども、毎年これの対象者が同じですよ。なので例えば、今意見に出ていた、専門職の方へってこの方々に集う会にいらしていただいて、対象を市民にするとか、こういうことがこの専門職の人たちはできますというような周知の場を設けてもいいのかなというふうには思います。

さっき平澤さんがおっしゃっていたように、前、コーディネーターの方がいらしたんですけど、その方にも相談件数がほとんどないということだったんですよ。

それでこういうふうにはなったと思うんですけど、これにしても結局は相談がないということなので、やっぱりその市民の方の声を拾える場を作るとするのがいいのかなというふうに思って聞いていました。

(中館会長)

ありがとうございます。

やはりどこに声かけるかという周知をどのようにして告知していくかということなんだと思います。事務局の方に検討していただきたいと思いますのでよろしいでしょうか。今すぐ結論は出ないかと思うんですけど。どういうふうな形をしていくのかというのは、なるべく早く検討して皆さんに連絡していただくようにしていただきたいかと思ひます。よろしくお願ひいたします。

あとは、何か他にご意見とかご質問とかございませぬか。よろしいでしょうか。

なければ協議はこれで終了として事務局にお返しいたしたいと思ひます。

(小綿課長補佐)

中館会長ありがとうございました。

次に5その他に入りますけど、皆様何かございますでしょうか。無いようですし、事務局からありませんので5その他を終わります。

6閉会になります。それではこれをもちまして、令和4年度花巻市在宅医療・介護連携推進協議会を閉会とさせていただきます。

本日はお疲れのところご参加いただきまして、誠にありがとうございました。